



# 北中だより



<http://nk-kitanaka-j.la.coocan.jp/>

中野区立北中野中学校

## ★素直な気持ちで受け止めること

校長 津村 慶

学校生活の中で時おり耳にするやり取りです。先生がある生徒を呼んで注意をします。するとその生徒は「違うんです!」「だって〇〇くんが…」「でも、〇〇さんだってやってるし…」などと言います。皆さんはこんなフレーズに心当たりはありませんか。

心理学の専門家が言うには「だって…」や「でも…」という言葉の裏には「だから、私は悪くない」という気持ちが存在するのだそうです。もしも本当に仕方のない事情があって、先生に言われていることがまったくの誤解だとしたら、そのことを順序立てて説明して分かってもらうことは大切です。しかし、本当に自分自身に非はないのでしょうか。もしも、先生に言われたことを素直に受け止めることなく、「私だけじゃない…」とか「自分は悪くない…」と思っているとしたら、その人は自分自身の課題に気づくチャンスを潰してしまっているのかもしれない。

こんな気持ちになったことはありませんか。「もう中学生なんだから…（自分でちゃんとやりなさい）」と言われたかと思うと「まだ中学生なんだから…（我慢なさい）」とも言われる。大人は場面で言うことを変えていずる。確かにそう考えてしまいますよね。しかし「もう中学生…」も「まだ中学生…」もどちらも間違いではありません。中学生という時期は、まさに子どもと大人の中間に位置する時期です。皆さんは「子ども」として中学校に入学し、三年間の学校生活の中で「大人」として必要なものを身につけて、卒業していくのです。

そんな子どもから大人への過渡期を過ごす皆さんですから、失敗や間違いがあるのは当たり前のことです。失敗や間違いをしても「自分はダメだ」などと思う必要はありません。誰にでも失敗の経験があり、間違いをしない人などいません。ましてや皆さんは中学生なので、日々の生活の中で失敗はつきものです。先生たちは、失敗や間違いを指摘して、皆さんにペナルティを負わせようとしているわけではありません。大切なのは、中学生である今のうちに間違いや失敗に気づき、自分自身を見直すことで同じことを繰り返さない人になることです。先生たちもそのことを望んで皆さんに注意をしています。だからこそ、細かなことであっても、言いづらいことであっても、嫌われるかもしれない中で言わなければならないことは言うのです。注意を受けて、嬉しい人はいないでしょう。しかし、言い訳をしなかったとしても、心の中で「自分は悪くない」と思っていると、先生からのアドバイスは心に残りません。注意されることは皆さんにとって、自分を成長させるためのチャンスなのです。

大切なのは、皆さんが自分自身の課題に気づき、それを次の行動に生かしていくこと。「だって…」や「でも…」といった言葉で弁解する前に、言われたことを素直に受け止めて、本当に自分に反省すべきところはなかったのか、どうすれば良かったのかを考えることで、より磨かれた立派な大人へと成長してほしいと願っています。

### 保護者の皆様へ

2022年も残り一週間程となりました。日々の教育活動へのご理解とご協力はもとより、お子様の体調管理や健康観察につきましてもたいへん感謝しております。良いお年をお迎えください。

12月28日から1月3日まで学校は留守番電話に切り替わります。緊急の要件につきましては、中野区役所の代表電話にご連絡くださいますようお願いいたします。 中野区役所:03-3389-1111

## 中野区長・教育長と北中生との意見交換会

11月8日の放課後、酒井直人区長と入野貴美子教育長が本校にお越しくださいました。中野区の教育が目指す姿をまとめた教育大綱の改定で中学生の意見を聴くため、生徒会本部役員と各専門委員長で構成される中央委員会の生徒たちが学校を代表して会に臨みました。

生徒からは、西武線の踏切に関する問題や図書館などの勉強できる施設が少ないこと、ボール遊びのできる公園を増やしてほしい、電子教科書を多くの教科で導入してほしいなど、建設的な意見が数多く出されました。酒井区長と入野教育長は、生徒たちの意見を丁寧に聞き取ってください、充実した意見交換会となりました。



## 「がん」について学ぶ講演会を実施しました

11月16日(水)の5校時に国立国際医療研究センターの谷山智子医師をお招きして「東京都がん教育講演会」を実施しました。文部科学省のアンケートではまだ取り扱っている学校の少ない教育課題であり、外部講師を招聘して実施している学校は全体の8%程度しかない貴重な機会です。

「がんについて知ろう」、「がんは予防できる」、「検診を受けよう」、「大切な人ががんになったら」という4つのテーマで講演が進み、がんが発生する理由や男女別の罹患率、発生するリスクを下げるために必要なことや、がんになった人の気持ちなどをスライドを見ながら中学生にも分かる言葉で丁寧に教えていただきました。

事前のアンケートでは「怖い」、「治らない」、「髪が抜ける」、「なりたくない」といった印象が強い病気ですが、正しい知識を得るとともに、予防に必要な生活習慣の改善や検診の必要性を理解することで、将来にわたって健康かつ心豊かに過ごすための一助となることを期待しています。



かみさぎ幼稚園との連携により、3年生・家庭科の保育

実習を三年ぶりに実施することができました。

11月28日から5日間に渡りクラス毎に幼稚園を訪れ、約50分間4歳児や5歳児の園児たちと身体を動かしたり、絵本の読み聞かせをしたり、一緒にお話ししたりする活動をしました。

園児もすぐに中学生に慣れて楽しそうに遊ぶ姿が見られ、帰る頃には名残惜しそうに玄関まで見送りに来てくれました。幼稚園の先生方からは「こんなに暖かく園児に接してくれるなんて本当に落ち着いていて優しい中学生ですね。」というお誉めの言葉をいただきました。

## 3年生・保育実習の様子





## 北中生! コンクールや大会、コンテスト等で大活躍!!

北中生がさまざまなコンクールで入賞し、多くの表彰を受けています。「社会を明るくする運動」の作文コンテストと「明るい選挙」ポスターコンクールでは2年生が、「税についての作文」と「税の標語」では3年生が、読書感想文コンクールでは3年生を中心に1・2年生からも優秀作品が入賞しました。こんなに多くの生徒の作品が選ばれるのは例年にはないことで、たいへん誇らしく思うとともに、北中生の作品がより良い社会を築くための役に立っているのは本当に嬉しいことです。

その他にも、バドミントン部と卓球部が秋の新人戦大会で勝ち上がり、都大会に進出しました。

たいへん素晴らしい活躍ですが、文化・運動のどちらにおいても日頃からの地道な積み上げがあるからこそその成果だと言うことを忘れずに、これからも頑張ってください。

### 【「明るい選挙ポスターコンクール」】

◇ 佳作	2 A	Y・E
	2 D	O・M
	2 D	M・K

### 【青少年読書感想文東京都コンクール】

◇ 都優秀賞	3 E	O・T
--------	-----	-----

### 【東京都読書感想文コンクール】

◇ 都優秀賞	3 E	O・T
--------	-----	-----

### 【中野区中学校読書感想文コンクール】

◇ 金賞	3 B	U・M
	3 E	O・T
◇ 佳作	3 B	H・T
	2 C	S・H
	1 A	T・Y

### 【部活動の都大会進出】

◇ バドミントン部 (都大会ベスト16)		
女子ダブルス	F・R	& O・S
◇ 卓球部		
男子個人	K・R、I・H、R・R	
女子個人	I・S、K・M	

### 【社会を明るくする運動作文コンテスト】

◇ 中野区推進委員長賞	2 C	S・H
		「その一言で」

### 【税についての作文】

◇ 中野区長賞	3 B	Y・R
		「税金で創る社会」
◇ 中野納税貯蓄組合連合会会長賞	3 C	N・S
		「税の必要性を医療助成の地域差から考える」
◇ 中野納税貯蓄組合連合会優秀賞	3 E	O・T
		「小さな椿の花」

### 【税の標語】

◇ 中野税務署長賞	3 A	M・M
◇ 中野区長賞	3 E	H・N
◇ 中野租税教育推進協議会会長賞	3 B	M・M
◇ 東京国税局関税会連合会入選	3 C	K・N
◇ 中野間税会会長賞	3 A	S・O
	3 A	O・K
	3 A	O・H
	3 C	M・K
◇ 中野間税会佳作	3 A	A・T
	3 A	I・S
	3 A	S・R
	3 A	S・M
	3 E	F・J

**ウクライナ募金へのご協力  
ありがとうございました!!**

生徒の提案に生徒会が協力する形で始

まったウクライナの避難民を支援する募金は、期間を延長して実施し27,490円が集まりました。皆さんからの寄付は、生徒会長のSさんと提案者のWさんが責任をもって土子文則さんのクラウド・ファンディングに入金しましたので、現地の避難民の支援に役立てられます。

ご協力、ありがとうございました。



## Jアラートを想定した避難訓練を行いました

11月22日の6校時終了後に月例の避難訓練を行いました。今回は隣国からミサイルが発射されたという想定で、身を守る行動と安全確認の訓練を行いました。Jアラートの放送後、屋外にいる生徒は建物内に逃げ込み、教室では机を廊下側に寄せてできるだけ窓側から離れ、ヘルメットを被って机の下に避難しました。ふざける生徒もなく、先生の指示に従って整然と行動する様子はたいへん立派でした。

訓練の後半には、今回の避難行動以外にどのような方法で身を守ることができるか、登下校中にJアラートが発令された場合にどうすればよいかなどを、一人ひとりが考えワークシートに記入しました。

いつ、どのような事態が起きても自分で命を守ることができるように、これからも様々な想定の実践訓練を行っていきます。



## 2年生が校外学習に出かけました!!

冬晴れの青空の下、11月25日に「学ぼう! TOKYO」というスローガンで都内巡りを実施しました。「東京の街を眺める見学地」、「歴史や文化・東京らしさを感じる見学地」、「町並みの違いを考える見学地」という3つのカテゴリーの中から班ごとに訪れたい場所を選び、自分たちの力でコースを組み立てました。昼食場所も班で考え、農林水産省の食堂や東大の学食、老舗のおそば屋さんやお寿司屋さんの他、天丼、カレー、うどん等バラエティーに富んだラインナップでした。見学地では、現地に行かないと分からないクイズの他に、見学地で撮影する写真のミッションが設定されていて、iPadを駆使しながら楽しそうに東京の名所を巡っていました。

3年生の修学旅行で集合場所となる東京駅地下の「団体集合場所」もチェックポイントになっており、来年の予行演習も兼ねた学習成果の多い校外学習でした。

